

# キリストへの時間

「キリストへの時間」協力委員会報

## 「日常への福音」

名古屋学院大学スポーツ健康学部教授 高見伊三男

現代における福音の伝道のための手段としては、さまざまなものがあります。テレビをはじめパソコン、スマートフォンなどによって、全国に届けられます。そうした中で、ラジオによる伝道はどのような特徴または利点があるのでしょうか。

わたしが思う第一は、ラジオによる伝道は、日常へと届けられる福音であるということです。ラジオを聞くときは、車を運転しながらのときもありますし、何かの仕事や勉強をしながら、といった「何々しながら」のときもあります。

また第二に、それと裏腹のことになりますが、ラジオによる伝道は、かえってその音声に集中できるのではないかということです。たとえば、音楽や語学学習の場合、それらの音や声だけでも十分に有効ですし、かえってそれらの音や声に聞き手が集中できることがあると思われます。

そうした点により、ラジオによる伝道は、日常への福音伝道ということが言えると思われます。さらに言えば、そもそも福音伝道は、聖書に基づく福音伝道ですので、どちらかというと、聞いてもらうという願いがあると考えられます。そこから「福音」(喜びの知らせ) ということも関連しています。また、教会での礼拝中の説教についても同様なことが言えると思われます。

「福音」は、まさしく「キリストへの時間」の番組名が示しているように、イエス・キリストについての喜びの知らせということです。すなわち、イエス・キリストは神の御子として降誕し、その生涯をとおして天地の主なる父なる神またさまざまな隣人へ愛をもって仕えていき、その愛の極み

としての十字架とその報いとしての復活・昇天・父なる神の右の着座・執り成しをとおして、今も永遠なる愛の神の御子・救い主としてわたしたちを守り、導いてくださっておられる方であるということについての福音ということあります。

そうした福音への受容としての信仰、さらにはより積極的な愛によって、わたしたちは天地の主なる神様をすべての父として敬愛し、礼拝し、またさまざまな隣人（敵をも含む）を自分のように愛し仕えていくということへと招かれているということあります。

そうした福音がわたしたちの日常へと届けられるということは、大いなる恵みではないでしょうか。「キリストへの時間」では、聖書朗読、説教・讃美歌などが放送されますが、それらは日常における一種の礼拝ともいえるであります。

実は、わたしの務める名古屋学院大学また名古屋学院中学・高校は、上記の「敬神愛人」を建学の精神として引き継いで来ています。今年がその創基129周年ということになります。この「敬神愛人」は、アメリカのF.C. クライン博士によってはるばる伝えられましたが、聖書におけるマタイによる福音書22章34～40節、マルコによる福音書12章28～34節、ルカによる福音書10章25～28節などに基づきます。こうした御子イエス・キリストによって成就・貫徹されている「敬神愛人」を、当校の学生・教職員のみならず、できるだけ多くの方々に、できれば「キリストへの時間」をお聞きの方々にも、その日常へと届けることができればと日頃願っております。

## 「イエスのもとに来るならば」

日本キリスト改革派尾張旭教会牧師 久保田 証一

2016年9月11日放送分

イエスは言われた『わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

ヨハネによる福音書 6:35

救い主イエス・キリストは、ご自分のことをいろいろなたとえでお示しになりました。良い羊飼いである、とか、ぶどうの木である、とか、今日の聖書箇所にあるように命のパンである、というたとえです。今日の箇所にある「命のパン」というところからまず見てみましょう。

主イエスが「命」と言われる時、それは単にこの世で生きている生物学的な意味での命のことだけをいっているわけではありません。私たちの体は、年月とともに年を取り、衰えていきます。そしてやがてこの世を去ります。そこまで、命が尽きた、という言い方もありますが、主イエス・キリストが言われる「命」は、そこに留まるものではありません。主イエスは神の御子としてご自分の内に永遠の命を持っておられ、そして主イエスを信じる人にも永遠の命を与えることのできるお方です。

永遠の命とは、ただ単に今の状態で永久に「生き続ける」ということではありません。今の状態のままだったら、それはかえって苦痛だという人もいるかもしれません。しかし主イエスが与えてくださる永遠の命は、神と共にある命であり、苦しみ、嘆き、悲しみから解放された、本当に祝福された、幸いな命です。年月と共に衰えたり弱ったり、朽ちてしまうものではありません。私たちの想像をはるかに超える、素晴らしい命であり、決して神から切り離されることのない命です。

主イエスのもとに来る者は、そのような命が与えられる、と言っておられます。

もしそうするならば、決して飢えることも渴く

こともない、と主イエスは断言しておられます。私たち人間は、たとえ食料が有り余っていても、心が満たされない、ということがあります。どんなに楽しそうに見えても、実は心の中はむなしく、ぽっかりと穴が開いているようだったら、どうでしょうか。やはり心の奥深い所で何かが足りない、何か満たされていない、という思いがこの世の生活にはつきまとっています。

それは、私たちと神との間を隔てている「罪」があるからです。人間自ら神の前に罪を犯して背を向けてしまいましたので、神との間に溝ができてしまい、私たちはそれによって魂の落ち着きどころを失ってしまいました。だから人間はこの世で魂の飢え渴きを覚えるようになったのです。そして、人がやがて必ずこの世を去らねばならないのも、人が神の前に犯した罪のためであると、聖書は教えてています。そのことを知って、救い主イエス・キリストによってその罪を赦していただきたいと願い、より頼むこと。これがイエスに近づくことです。主イエスは十字架にご自分がおかげになることによって、私たちの神に対する罪を代わりに償ってくださいました。

救い主としてこの世に来られたイエス・キリストは、私たちの魂の飢え渴きをいやし、満たしてくださいのお方です。私たちの心の奥深くまでご覧になり、魂も体もどちらも救う権威を持つ神の御子です。私たちの内にある罪と、それがもたらす魂の飢え渴きは、これ以外の方法では取り除くことができないのです。

そして、主イエスは、イエスを信じて近づいてくる者を、決して追い出さないと言っておられます(6章36節)。これは、なんと幸いなことでしょう。私たちは自分の信念や善き行いによっては自分を救うことはできません。自分の信仰は絶対丈夫だなどともいえません。しかし、自分に頼らず、主イエスの約束により頼むならば、私たちは

安全です。イエスを信じてそのもとに来て、より頼む人は、決して救いの恵みの中から追い出されないのでですから。

私自身、この御言葉によって、何度も励まされ、力を与えられてきました。自分の内を顧みると、なんとも頼りなく、罪深く、弱い者であることを

認めざるをえません。けれども、それを知って、認め、主イエスに一切を任せてゆだねるならば、決して飢えず、渴くことがない。この約束により頼みましょう。主イエスは命のパンとして、御言葉と御業によって、そのことを力強く証ししておられるのです。

## キリストへの時間 ARCHIVE アーカイブ

放送時間	スポット	床・白刃	番組別	番組名	放送分類	廣告主名	演出・担当者	出演者	担当アカウンター	摘要	
										専門 局長	専門 監修
5.00											
~ 5.15											
5.30											
5.45											
6.00				3 韶の音楽(火曜劇場)	R		人浦 伸	鶴	加藤		
~ 6.15				ニュース 大丸子版	R	(人浦 伸)			加藤		
6.30				星と花火	R	高崎(企)			加藤		
6.33				星と花火	R				加藤		
6.45				紅白歌合戦	R				加藤		
7.00	20			5 全国ローグ題演説会	R	(柳原 誠司)	熱海(大柳)	田中			
~ 7.15	20			天 犬 子 鳴	R	(柳原 誠司)	高崎(企)	加藤			
7.32				温泉	R	高野 勝	(大 脇)	朝吹美一	鶴蔵	テ-アソニス	
7.45				アメリカ風流	R	メンソレーラム	人 順	皆川アト	音楽		
8.00	30			今日の御来店	R	津田(企)	川 連	田中			
~ 8.15				云ル一歩進んで	R	加賀屋(企)	鶴	板井信二	歌舞		
8.30				政治裏裏	R	(花 三 治)	不	西野喜久雄	田中		
8.45				キリストへの道	R	南長光(企)	鶴	マカルヒコ	歌舞		
9.00											
~ 9.00	30			賛美堂	R	西田(企)	田中	宗谷			
9.15				五木ひばり	R	(西田)	中村嘉永	田中	宗谷		
9.33				手袋の音楽	R	(高尾(企))		近藤			
9.45				人工製糸	R	(大 脇)	本上冬樹	加藤			
10.00	40			田辺製糸	R	(下 島)	今泉	田中	テ-アソニス		
~ 10.15				第一製糸	R	(新東宝(企))	浦 田	田中			
10.32				日本人の歌	R	第一製糸	大 脇	杉本三郎	田中		
10.45				新日本通商	R	ナカサ	鶴	田中	歌舞	歌謡	
11.00	30			二二二あめうらじ	R	(市津 葉舟)	伊藤	田中	宗谷		
~ 11.15				奥様リハシ	R	(市津 葉舟)	山尾	中村嘉永	田中		
11.32	20			横笛	R	(市津 葉舟)	藤 国	田中	宗谷		
11.45				進歩	R	(小川 伸)	保 金	田中	宗谷		
12.00	20			扶桑	R	(横笛)	清介	田中	宗谷		
~ 12.15				二二二人生	R	(横笛)	田中	田中	宗谷		
12.32	30			二二二人生	R	(横笛)	田中	田中	宗谷		
12.45				食後音楽	R	(伊藤)	伊藤	田中	宗谷		
1.00	30			(食後音楽)	R	(伊藤)	伊藤	田中	宗谷		
~ 1.15				二二二人生	R	(伊藤)	水野	田中	宗谷		
1.32				名作曲選	R	(伊藤)	八 岳	田中	宗谷		
1.45				名曲	R	(伊藤)	山 東	津島	田中		
2.00				二二二人生	R	(伊藤)	津島	津島	田中		
~ 2.15				第一製糸	R	(伊藤)	清介	田中	宗谷		
2.32				新千絆作	R	(伊藤)	田中	田中	宗谷		
2.45				IP 露	R	(伊藤)	梅 先	田中	宗谷		
3.00				IP 露	R	(伊藤)	小 岩	田中	宗谷		

初回放送 1952年10月27日(月) 8時30分に「キリストへの道」(当時)で放送



## =仕事場からの感想=

皆様のお祈りに支えられて、ささやかですがフォローアップの仕事をさせていただいております。放送をお聞きになってお便り下さる方、FAXで新約聖書を希望される方などが与えられております。次に繋がる関りが与えられることも最近は多くなりました。時代でしょうか。パソコンや携帯などでのお便り交換です。

生き方探しから、日常の出来事のことなどですが、そこから神様に近づいていただく機会を作り出すことが、私の祈りです。「つのぶえジャーナル」がその糸口になっていることも確かで、お友だちの紹介でしょうか、私のメールアドレスを利用して、CBCの放送圏外からのお便りが多いので、「文書伝道」の役割があることを再認識させられています。

今の祈りの課題は、抗がん剤治療を受けておられる方とのお便り交換が5名になりました。今のお気持ちをしびれる手でお便り下さる方もおられます。PCや携帯メールとは違う思いにさせられます。自分のことなどは、次の次にさせられます。それが、私を支える力になっています。頑張ります。

フォローアップ・会計担当 長村 秀勝

下記のメールアドレスを親しい方にご紹介ください。

「つのぶえジャーナル」 URL:<http://tunobue.blog.shinobi.jp/>



## 「キリストへの時間」放送予定 2017年1月～6月

### 1月

1日 小幡伸幸	(日本キリスト改革派豊明教会長老)	2日 後登雅博	(日本キリスト改革派高蔵寺教会牧師)
8日 小幡伸幸	(日本キリスト改革派豊明教会長老)	9日 後登雅博	(日本キリスト改革派高蔵寺教会牧師)
15日 青山昭一郎	(日本キリスト改革派犬山教会長老)	16日 辻 幸宏	(日本キリスト改革派大垣教会牧師)
22日 青山昭一郎	(日本キリスト改革派犬山教会長老)	23日 辻 幸宏	(日本キリスト改革派大垣教会牧師)
29日 長谷川 潤	(日本キリスト改革派四日市教会牧師)	30日 相馬伸郎	(日本キリスト改革派名古屋岩の上教会牧師)

### 4月

### 2月

5日 小室尚子	(金城学院宗教総主事)	7日 横山良樹	(日本基督教団半田教会牧師)
12日 小室尚子	(金城学院宗教総主事)	14日 横山良樹	(日本基督教団半田教会牧師)
19日 落合建仁	(金城学院大学宗教主事)	17日 西村 清	(中部教区巡回牧師)
26日 落合建仁	(金城学院大学宗教主事)	21日 西村 清	(中部教区巡回牧師)

### 5月

### 3月

5日 田口博之	(日本基督教団名古屋教会牧師)	4日 沖崎 学	(金城学院高等学校宗教主事)
12日 田口博之	(日本基督教団名古屋教会牧師)	11日 沖崎 学	(金城学院高等学校宗教主事)
19日 高橋 潤	(日本基督教団中京教会牧師)	18日 後藤田典子	(金城学院中学校宗教主事)
26日 高橋 潤	(日本基督教団中京教会牧師)	25日 後藤田典子	(金城学院中学校宗教主事)

### 6月

発行所 「キリストへの時間」協力委員会 〒461-0018 名古屋市東区主税町4-86

連絡先 〒465-0065 名古屋市名東区梅森坂4-101-22-207 TEL・FAX052-893-9585  
E-mail: osamura@kind.ocn.ne.jp

編集発行人 田口博之 郵便振替 00880-1-70404・キリストへの時間

CBCラジオ「キリストへの時間」(1053kHz) 毎週日曜日 朝6時30分～6時45分放送